

1 快適な都市空間の形成

●都市の骨格となる道路整備

- 慢性的な交通渋滞の緩和を図る道路整備を推進しています。

令和5年度は、大分市の東西骨格軸である（都）庄の原佐野線（下郡工区）の工事を進め、渋滞緩和に向けて、事業の進捗を図りました。



令和元年5月

令和6年2月

（都）庄の原佐野線（下郡工区） 工事状況

●道路空間の再生

- 道路の拡幅や既存の道路敷内における幅員構成の見直し、歩道整備、バリアフリー化、電線類の地中化などを実施し、質的向上を推進しています。

令和5年度は、日田市の（都）銭淵大宮線の改良工事や別府市の国道500号の歩道設置工事などを行いました。



旧道



現道

（都）銭淵大宮線 歩道整備状況

●都市公園の整備

- 長寿命化計画に基づき、施設の老朽化対策に合わせて、誰もが快適に利用できる施設への改修を推進しています。

令和5年度は、大分スポーツ公園内の休憩所や高尾山自然公園の園路等の改修を行いました。



改修前



改修後

大分スポーツ公園 休憩所の改修

【目標指標】

指 標	基準値		R5年度			R6年度
	年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値
対策を講じる主要渋滞箇所数	H26	—	28箇所	29箇所	103.6%	30箇所
1人当たりの都市公園面積	H26	13.1㎡/人	13.6㎡/人	13.9㎡/人	102.2%	13.6㎡/人
都市内の街路整備延長	H26	502km	508km	509km	100.2%	510km

【指標による評価】

評価	理 由 等
達成	（主）臼杵停車場線臼杵工区ほか1箇所の整備を計画的に進め、目標値を達成した。
達成	整備水準の目安となる1人当たりの都市公園面積について、計画的な整備により目標値を達成した。
達成	富士見通南立石線ほか1箇所の整備を計画的に進め、目標値を達成した。

2 潤いのある水環境の創設

●生活排水処理対策

- ・「大分県生活排水処理施設整備構想 2015」に基づき市町村と連携し生活排水処理対策を推進しています。
- ・下水道整備や合併処理浄化槽への転換を推進する市町村を支援しています。令和5年度は17市町村に対して支援を行いました。
- ・整備に時間を要する下水道区域は浄化槽区域へ変更するなど、市町村に効率的な整備手法への見直しを促しており、これまでに12市村で見直しを実施しました。
- ・広域化・共同化計画への検討を進めるなど、市町村が連携した事業運営や維持管理の効率化への技術的な支援などを行っています。

●住民参加の水環境づくり

- ・地域住民が参加する生活排水処理対策等の水環境づくりを推進するため、啓発活動を実施しています。

●良好な河川・海岸環境づくり

- ・多様な生物が生息・生育する水辺の保全や復元、人と水とのふれあいの場の創出など、水辺環境の整備に努めています。

◆ 親水空間の創出 ◆



R5.7.23 田ノ浦ビーチ「マリンスクール '23」

◆ 小学校への出張教室 ◆ 【令和5年度実績 35校】



R5.9.28 木立小学校
(佐伯市)



R5.11.2 西庄内小学校
(由布市)



R5.11.8 鶴居小学校
(中津市)

【目標指標】

指 標	基準値		R5年度		R6年度	
	年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値
生活排水処理率	H26	72.3%	86.5%	82.8%	95.7%	88.2%

【指標による評価】

評価	理 由 等
概ね達成	市町村に対して財政面での支援などを行い、目標値を概ね達成した。

3 快適な住まいづくりの推進

●住宅セーフティネットの推進

住宅確保要配慮者（以下、「要配慮者」という。）の住まいや安心な暮らしを確保するため、地域・行政・関係団体が協力して包括的に支援を行う居住支援協議会の設立を各市町村で進めています。関係者による居住支援ネットワーク会議で議論を重ね、令和5年度までに5市町で協議会を設立しました。高齢者の住替え等の相談に対して、協議会で解決する事例も増えています。

居住支援協議会の設立促進・ネットワーク構築（令和6年3月時点）

- ・R5年度は、日田市・国東市・日出町の3市町で設立し、計5市町で協議会が設立。（設立割合は東京都に次いで全国第2位）

- ・要配慮者向けの住まいに、空き家を利活用することを目指し、大学と連携した空き家調査や地域住民向けの報告会を開催。



関係者によるネットワーク会議



大学連携による空き家実態調査等



●県営住宅の改善

劣化の程度が大きいものについて、優先的に外壁や防水等改修工事を実施し、建物の長寿命化を図っています。

岩田住宅などバリアフリー化されていない県営住宅の1、2階部分の住戸において、浴室やトイレに手すりや給湯設備等を設置するなど、高齢者の利用に配慮した改善工事を行い、バリアフリー化を進めています。

浴室



改修前

→



改修後

手すり、非常呼び出しボタン

シャワー

○浴室の床をかさ上げして段差の負担を軽減し、手すり、給湯器、シャワー、非常呼び出しボタンを設置。

トイレ



改修前

→



改修後

手すり

非常呼び出しボタン

○手すり、非常呼び出しボタンを設置。

【目標指標】

指 標	基準値		R5年度			R6年度
	年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値
県営住宅住戸内バリアフリー整備戸数の割合	H26	31.2%	35.0%	36.5%	104.3%	35.0%

【指標による評価】

評価	理 由 等
達成	住戸内のバリアフリー化を計画的に進め、目標値を達成した。

4 「おんせん県おおいた」のツーリズム支援

●主要な観光地を結ぶ道路整備

- ・主要な観光地間を周遊するルートや、地域道路ネットワークを構成する主要な観光地へのアクセス道路について整備を進めています。

令和5年度は、緒方高千穂線（上冬原工区）が全線開通し、豊後大野ジオパークのツーリズム振興に寄与しました。



緒方高千穂線 上冬原工区（豊後大野市）

●良好な景観の保全・再生・創出

- ・本県の恵まれた自然景観や文化を観光資源として活かすため、主要観光ルートの防護柵の更新や景勝地の支障木伐採に取り組んでいます。



●おもてなしの道路管理

- ・観光地へのアクセスルートにおいて、区画線の更新（※1）や案内標識の更新（※2）を実施し、来県者が目的地まで安全で快適に運転できる道路環境の創出・維持に取り組んでいます。



●観光施策等と連携した取組

- ・県が推進する「ツーリズム戦略」などの観光施策等と連携し、魅力ある道路環境の整備等に取り組んでいます。
- スポーツツーリズム支援として、別府一の宮線（九重町大字田野 延長約5km 区間）において、路肩拡幅等による道路環境整備（トレーニングコース整備）を引き続き実施しています。



第3節 発展を支える交通ネットワークの充実

1 広域道路ネットワークの構築

●東九州自動車道

・東九州自動車道は現在、4区間の約21kmで4車線化事業が展開されています。平成31年度に事業着手した「宇佐IC～院内IC」は香下トンネルが貫通し、「臼杵IC付近」臼杵トンネルは約7割の掘削が進んでいるところです。引き続き、事業中区間の整備促進及び残る優先整備区間の早期事業化を目指し、国等への要望活動を行います。

●中九州横断道路

・竹田阿蘇道路は令和4年度から工事に着手するなど、事業が進められています。また、県内の残る未事業化区間である「大分～犬飼」の早期事業化に向け、令和5年11月に大分市で「中九州横断道路リレーシンポジウム」を開催するとともに、12月には国による第3回計画段階評価が実施され、ルート案が決定しました。引き続き、早期事業化を目指し、国へ要望活動を行います。

●中津日田道路

・中津日田道路では全長約55kmのうち、約28kmが供用されており、現在、約22kmの区間で事業を推進しています。「三光本耶馬溪道路」(直轄権限代行)においては、田口IC～青の洞門・羅漢寺IC間が令和6年3月24日に開通しました。また、「耶馬溪山国道路」では調査・設計、「日田山国道路」では1号トンネル避難坑、5号トンネル本坑の工事を進めています。引き続き、用地取得や改良工事を実施し、各工区ともに早期の供用開始を目指します。



三光本耶馬溪道路 開通状況
(青の洞門・羅漢寺IC付近)



日田山国道路 整備状況

【目標指標】

指 標	基準値		R5年度		R6年度	
	年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値
大分市中心部まで概ね60分で到達できる地域の割合	H26	73%	77%	77%	100%	78%
九州の東の玄関口としての拠点化主要施設まで概ね30分で到達できる地域の割合	H26	—	54%	54%	100%	54%
地域高規格道路整備延長	H26	67km	87km	87km	100.0%	100km

【指標による評価】

評価	理 由 等
達成	国道387号川底工区や三光本耶馬溪道路(田口～青の洞門・羅漢寺)の開通により、目標値を達成した。
達成	宇佐本耶馬溪線江須賀工区や三光本耶馬溪道路(田口～青の洞門・羅漢寺)の開通により、目標値を達成した。
達成	三光本耶馬溪道路(田口IC～青の洞門・羅漢寺IC)の開通により、目標値を達成した。

2 地域道路ネットワークの充実

●地域ネットワークの整備

- ・幹線道路は、渋滞や交通安全上等の課題の多い箇所、インターチェンジへのアクセス道路等の整備を進め、物流効率化や産業の発展、生活利便性の向上に寄与しています。

令和5年度は県道宇佐本耶馬溪線 江須賀工区などの整備促進により、地域道路ネットワークの充実を図りました。

- ・異常気象時等においても地域間のネットワークを確保するため啓開ルート上にある法面の崩壊対策を推進しています。令和5年度は、県道小野市重岡線など13路線13箇所を実施しました。



●中山間地域等の生活道路

- ・既設の道路敷を利用した路肩拡幅や側溝整備等の局所改善を図っています。令和5年度は、山袋久々姥線など96箇所を実施しました。

- ・災害時の通行止めにより、集落の孤立が発生する可能性のある道路について、道路のり面対策を推進しています。令和5年度は、小川穴井迫線など2路線2箇所、事業を推進しました。



【目標指標】

指 標	基準値		R5年度			R6年度
	年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値
小規模集落から幹線道路へのアクセスを改善した集落数	H26	—	139集落	131集落	94.2%	150集落

【指標による評価】

評価	理 由 等
概ね達成	国道387号川底工区等の開通により、32集落(全131集落)のアクセスが改善し、概ね達成となった。

3 海上輸送拠点の強化

●港湾機能の強化

○臼杵港

八幡浜へのフェリーが1日14便の過密ダイヤで運航しており、港内では大小様々な船舶が航行しています。

安全な航行の確保並びに港湾機能の強化を図るため、新たなフェリーターミナルの整備を推進しています。

○別府港

「九州の東の玄関口としての拠点化」にむけて、施設の耐震化、老朽化対応、にぎわい空間創出に取り組んでいます。

令和5年度は四国航路フェリーの新岸壁のためのケーソン製作を行いました。

臼杵港（下り松地区）



令和5年度実施 埠頭用地造成工

別府港（石垣地区）



令和5年度実施 ケーソン製作工

●交通アクセスの向上

物流の効率化とともに渋滞緩和、安全性の向上等を図るため、臨港道路の整備を推進しています。

中津港（田尻地区）



令和5年度実施 道路改良工

大分港（坂ノ市地区）



令和5年度実施 道路改良工

【目標指標】

指標	基準値		R5年度			R6年度
	年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値
新規バースの整備延長 ※専用岸壁除く	H26	—	270m	270m	100.0%	270m
県内港湾の公共埠頭取扱貨物量	H26	—	44,400千ft	43,590千ft	98.2%	45,000千ft

【指標による評価】

評価	理由等
達成	整備を計画的に進め、目標値を達成した。
概ね達成	新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中、物流は回復基調にあり、目標値を概ね達成することができた。